

2023 年度 一般入学試験 後期日程

地理歴史・公民・理科 〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕 〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60 分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の 3 科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、125 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 27	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史 B	28 ~ 55	
	政治・経済	56 ~ 79	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	81 ~ 125	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間 (60 分) の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

世界史 B

(解答番号 ~)

第1問 仏教は世界三大宗教の一つとされ、とりわけアジアの地域で大きな役割を果たしてきた。アジアにおける仏教の動向について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A インドでは、侵入したアーリヤ人と①先住民が交わって社会が形成されていく過程で、ヴァルナ制とバラモン教が生まれた。前6世紀頃にはいくつもの都市国家が形成され、②武士階層や商人階層により、バラモン教に対抗する新しい宗教が起こった。例えば、ガウタマ=シッダールタの開いた仏教が、その一つである。前3世紀に③マウリヤ朝のアショーカ王はダルマによる統治を目指して仏教を保護し、各地への布教を行った。紀元前後には大乘仏教が生まれ、クシャーナ朝の保護の下でヘレニズム文化の影響を受けた仏像が作製されるようになり、ガンダーラ様式の仏教美術として中央アジアや中国などに影響を与えた。

問1 下線部①に関連して、歴史上の先住民について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① エトルリア人は、都市国家ローマを支配していたが、その王が前6世紀に追放された。
- ② ドラヴィダ系の人々は、ベトナム初期のドンソン文化を築いたとされる。
- ③ フン人は、イベリア半島まで居住地を広げたが、ローマ帝国やゲルマン人に圧迫された。
- ④ インディオという呼称は、カブラルがインドに到達したと誤解したことに由来する。

問2 下線部②に関連して、歴史上の軍人や軍隊について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 古代ギリシアでは、三段櫂^{かい}船のこぎ手として貴族が活躍した。
- ② 中世ヨーロッパでは、騎乗して戦う騎士が戦闘の主力となった。
- ③ インド大反乱は、マムルークというインド人傭兵の反乱が発生の契機となった。
- ④ 中国では、義和団事件鎮圧のために、欧米人を指揮官とした常勝軍が組織された。

問3 下線部③について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

- a マガダ国の武将チャンドラグプタが建てた。
- b 王家に対する反発から、バラモンがヒンドゥー教を広めた。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

世界史 B

B インドでは、4世紀に入るとグプタ朝が興り、サンスクリット語が④公用語となった。また仏教やジャイナ教が盛んになり、純インド的なグプタ美術が成立した。中国から法顕が訪れたのも、この時期である。一方、⑤東南アジアでは港市国家が成立し、交易によって繁栄していた。2世紀末までに、インドシナ半島ではメコン川下流域に扶南が成立し、ベトナム中部沿岸にチャンパーが成立していた。4世紀末から⑥5世紀にかけて、サンスクリット語の伝播など東南アジアの広い範囲でインドの強い影響がみられるようになった。6世紀にメコン川中流域にクメール人が建てた真臘では、12世紀にヒンドゥー教と仏教の影響を受けたアンコール=ワットが建造された。

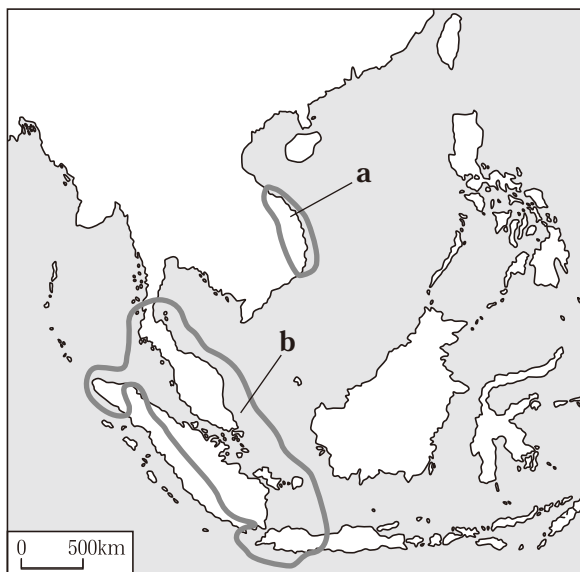
問 4 下線部④に関連して、歴史上の言語について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① アラム語は、オリエントの共通語で、古王国時代のエジプトの公用語であった。
- ② タミル語は、ニジェール川流域を支配したソンガイ王国の公用語であった。
- ③ ペルシア語は、中央アジアに起源をもつムガル帝国の公用語であった。
- ④ ウルドゥー語は、イスラーム教徒が国民の大半を占めるバングラデシュの公用語である。

問5 下線部⑤に関連して、次の地図は、7～9世紀頃の東南アジアの地域を示している。この時期にこの地域に存在した王国の名と、その位置を示す地図中のaまたはbとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

5



- ① マタラム王国 — a
- ② マタラム王国 — b
- ③ シュリーヴィジャヤ王国 — a
- ④ シュリーヴィジャヤ王国 — b

問6 下線部⑥に関連して、この世紀に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① フランク王国のクローヴィスが、アタナシウス派に改宗した。
- ② シリア総督であったムアーウィヤが、ウマイヤ朝を創始した。
- ③ 三国時代の魏の曹丕によって、九品中正が実施された。
- ④ 新羅が唐の勢力を排除して、朝鮮半島の統一を達成した。

世界史 B

C 仏教は、一般に上座部仏教と大乘仏教に分けられている。このうち大乘仏教は、後漢の時代に中央アジアを経由して中国に伝わった。当初は古来の⑦中国の思想などの影響を受けつつ受容された。しかし、4世紀初めには亀茲出身の仏図澄が布教に努め、5世紀初めには同じく亀茲出身の鳩摩羅什が多くの仏典を漢訳した。また、禪宗はインド出身の達磨が伝えたとされる。このような⑧渡来僧が、大乘仏教を中国へと本格的に伝えるようになった。大乘仏教は王室や貴族に支持され、4世紀以降、中国各地に⑨石窟寺院が建造された。仏教が、民衆の間で広く信仰されるようになったのは、さらに時代が下って宋代以降である。

問7 下線部⑦に関連して、古代中国の思想について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 孟子は、人の本性は悪であるとする性悪説を唱えた。
- ② 老子は、儒家の「仁」を差別的であると批判して兼愛・非攻を説いた。
- ③ 鄒衍は、成文法による統治を主張する法家思想を大成した。
- ④ 蘇秦は、合従策を説き6国を同盟させて秦に対抗させた。

問8 下線部⑧に関連して、歴史上の交流について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① ストラボンは、イベリア半島からインドまでの地誌を記した『地理誌』を著した。
- ② 義浄は、インド旅行記である『大唐西域記』を著した。
- ③ ルブルックは、自身の見聞談である『世界の記述』を口述筆記させた。
- ④ イブン=シーナーは、自身の旅行の記録である『旅行記』を口述筆記させた。

問9 下線部⑨について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

- a** アジャンター石窟寺院に、グプタ様式の代表とされる壁画が残されている。
- b** 洛陽郊外の雲崗に、グプタ様式の影響を受けた石窟寺院が建造された。

- ① **a** — 正 **b** — 正
- ② **a** — 正 **b** — 誤
- ③ **a** — 誤 **b** — 正
- ④ **a** — 誤 **b** — 誤

世界史 B

第2問 人類は、これまでに多くの種類の植物を、食用など様々な用途で使用してきた。植物をめぐる歴史について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A ヨーロッパでは、12世紀頃から遠隔地商業が本格化した。地中海交易圏にあって、①イタリアの港市には東方貿易により胡椒などの香辛料がもたらされた。15世紀以降、ヨーロッパ諸国はアメリカやアジアへと盛んに進出するようになった。進出の動機の一つが、安価な香辛料の入手であった。17～18世紀になると、いわゆる世界の一体化が進行し、ヨーロッパ諸国の人々は②茶や砂糖などの世界商品を多く消費するようになった。この茶が、一国の独立につながった例がある。七年戦争による財政赤字を解消するため、イギリスは北アメリカ植民地に対して茶などの課税を強化した。さらに1773年に茶法を制定すると、北アメリカ植民地の人々は強く反発し、③ボストン茶会事件を引き起こした。この事件が、アメリカ独立革命のきっかけの一つとなったのである。

問1 下線部①について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 五賢帝の一人ハドリアヌス帝は、ローマ帝国の最大領域を実現した。
- ② テオドリック大王が、ビザンツ皇帝の支持を受けて東ゴート王国を建てた。
- ③ フィレンツェの大富豪一族のランカスター家は、ルネサンスを保護した。
- ④ ローマ共和国の首相であるカヴァールが、イタリア統一を宣言した。

問2 下線部②に関連して、世界商品について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① フランスの都市では、カフェと呼ばれた飲食店が流行した。
- ② 生活革命によって、西欧諸国にタバコなどの嗜好品が流行した。
- ③ ジャガイモは、天候などの被害を受けにくいいため、ヨーロッパに普及した。
- ④ サン＝ドマングでは、ラティフンディア経営によって砂糖の栽培などが行われた。

問3 下線部③に関連して、アメリカ独立革命の経過について述べた次の文 a～c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

- a トマス＝ペインの出版した『コモン＝センス』が、爆発的に売れた。
- b ロシアのエカチェリーナ2世を中心にして、武装中立同盟が結成された。
- c 13植民地の代表で構成された、第1回大陸会議が開催された。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

世界史 B

B 中国では五胡十六国時代以降、④江南の開発が本格化し、宋代には長江下流域にも開発がおよんだ。明代には、開発の進展などもあって、稲作の中心地は長江下流域から中流域へ移った。また、江南では宋代から茶の栽培も盛んになった。喫茶の風習は次第に周辺各地に広がり、茶は中国の主要な輸出品の一つとなった。ユーラシアの反対側にあるイギリスでも、18世紀末には茶を飲む習慣が広まっていた。中国からの茶の輸入が急速に増加したイギリスは、輸入超過による中国への⑤銀の流出を防ぐため、中国へのアヘンの密輸を行った。中国の清朝がアヘンの密輸を禁止すると、イギリスは自由貿易を名目に⑥海軍を派遣してアヘン戦争を引き起こした。

問 4 下線部④に関連して、江南地方について述べた文として正しいものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 劉備は、江南を支配し、魏と蜀に対抗して呉を建国した。
- ② 隋は、江南と北方の政治の中心地とを結ぶため、大運河を建設した。
- ③ 宋代では、穀倉地帯として「湖広熟すれば天下足る」と言われた。
- ④ 明の永楽帝は、靖難の役後に北方の北京から南京に遷都した。

問 5 下線部⑤に関連して、歴史上の金銀について述べた文として正しいものを、

次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① コンスタンティヌス帝が鑄造させたソリドゥス金貨は、ビザンツ帝国でも使用された。
- ② モノモタパ王国は、岩塩と金を交換するサハラ交易で繁栄した。
- ③ アウクスブルクのヨーク家は、銀・銅鉱山の開発などで栄えた。
- ④ 明代では、メキシコ銀などの流入により、新たな税制として地丁銀が実施された。

問6 下線部㉔に関連して、世界史における海戦について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

- a** アクティウムの海戦で、ギリシア艦隊がペルシア艦隊を撃破した。
b アルマダの海戦で、イギリス海軍がスペインの無敵艦隊を撃破した。

- ① **a** — 正 **b** — 正
② **a** — 正 **b** — 誤
③ **a** — 誤 **b** — 正
④ **a** — 誤 **b** — 誤

世界史 B

C 東南アジアの諸地域では、16世紀になると世界的な⑦商業の活性化によって香辛料などの交易が増大した。その利益をめぐって、スマトラ島の **ア** やビルマのタウングー朝などの新興勢力が抗争を繰り広げた。19世紀になると、ジャワ島では⑧オランダ政庁による直接支配の下で、コーヒーや藍などの商品作物の導入や強制裁培制度が施行された。またフィリピンでは、イギリスなどから自由貿易を求める圧力を受け、スペインは **イ** を正式に開港した。これによってサトウキビなど商品作物の生産が広がり、この地は世界市場に組み込まれた。

問7 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- | | | |
|---|------------|---------|
| ① | ア — アクスム王国 | イ — マカオ |
| ② | ア — アクスム王国 | イ — マニラ |
| ③ | ア — アチェ王国 | イ — マカオ |
| ④ | ア — アチェ王国 | イ — マニラ |

問 8 下線部⑦に関連して、歴史上の商人や商業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① アイユーブ朝やマムルーク朝の保護下で、カーリミー商人が東西交易を行った。
- ② 商人ギルドの親方たちが、市政への参加を求めてツンフト闘争を展開した。
- ③ 徽州商人は、広州において貿易業務の独占を認められた。
- ④ ルイ16世の治下で、リシュリューは重商主義政策を推し進めた。

問 9 下線部⑧に関連して、オランダの動向について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① フランドル地方では、穀物増産のため第2次囲い込みが起こった。
- ② 南部10州の戦線離脱後、北部7州はユトレヒト同盟を結成した。
- ③ 審査法に対抗して、第1次イギリス＝オランダ戦争が起こった。
- ④ 七月革命の影響で、オランダに併合されていたハンガリーが独立した。

世界史 B

第3問 バルカン半島は現在、国境によって分割されているが、歴史的には一体であった時期もあった。バルカン半島の動向について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 紀元前4世紀、バルカン半島中央部のマケドニア王国は辺境と考えられていた。国王フィリッポス2世は急速に国力を高め、前337年にはスパルタを除く全ギリシアのポリスをコリントに集めて対外①同盟を結成した。前2世紀以降にバルカン半島を支配した②ローマ帝国は、バルカン半島でも街道網を整備した。帝都ローマを起点とするアッピア街道は、イタリア半島を斜めに横切り、港町ブルンデシウムに至る。ここから③船でアドリア海を渡って対岸のバルカン半島に再上陸し、エグナティア街道を東へ進めばビザンティウムにたどり着いた。のちに東西に分裂する帝国の、それぞれの都となる二つの都市は街道によって結びつけられていたのである。

問1 下線部①に関連して、世界史上の同盟について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① ペルシアの再侵攻に備えて、アテネを盟主にペロポネソス同盟が結成された。
- ② ロンバルディア同盟は、リューベックを盟主とした北ドイツ諸都市の連合体である。
- ③ フランスを孤立化させるため、ドイツ・オーストリア・ロシアは三国協商を締結した。
- ④ ロシアの南下に対抗するため、日本とイギリスは日英同盟を締結した。

問2 下線部②に関連して、共和政期のローマの動向について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① ホルテンシウス法により、コンスルの1名を平民より選出することになった。
- ② イタリア半島の同盟市が、完全なローマ市民権を求めて反乱を起こした。
- ③ レピドゥスは、無産市民を編入する軍制改革を実施した。
- ④ ポンペイウスは、第1回三頭政治に参加したが、パルティア遠征で戦死した。

問3 下線部③に関連して、主にムスリム商人がインド洋交易で使用した船の名と、その船の現在の姿を示す次の図 **a** または **b** との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21



a



b

- ① ダウ船 — **a**
- ② ダウ船 — **b**
- ③ ジャンク船 — **a**
- ④ ジャンク船 — **b**

世界史 B

B バルカン半島には、内陸からは5世紀からゲルマン人やスラブ人が、6～7世紀にアヴァール人やブルガール人が移動してきた。9世紀にブルガール人のブルガリア王国がギリシア正教を受容し、さらに11世紀にはビザンツ帝国がブルガリア王国を併合したため、バルカン半島に④ビザンツ文化が普及していった。一方、海からは⑤ノルマン人が侵入し、アドリア海の出入り口となる地域のビザンツ帝国の支配を脅かした。しかし、11世紀以降に分権化が進行していたものの、半島内の重要な幹線の支配は維持された。⑥第1回十字軍は、それらの幹線の一つを利用して進軍したのである。

問4 下線部④について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

22

- a** コンスタンティノープルに、サン=ヴィターレ聖堂が再建された。
b イエスや聖母子などを描いたイコンが作製された。

- ① **a** — 正 **b** — 正
② **a** — 正 **b** — 誤
③ **a** — 誤 **b** — 正
④ **a** — 誤 **b** — 誤

問5 下線部⑤に関連して、この民族の活動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① ウラディミル1世が、セーナ河口域にノルマンディー公国を建てた。
- ② クヌートが、イングランドを征服してデーン朝を開いた。
- ③ ノルマン=コンクエストにより、ウィリアム1世がヴァロワ朝を開いた。
- ④ リューリクが、ドニエプル水系にキエフ公国を建てた。

問6 下線部⑥に関連して、次の年表に示した a～d の時期のうち、第4回十字軍がラテン帝国を建てた時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

a
1077年 カノッサの屈辱
b
1154年 プランタジネット朝の成立
c
1295年 模範議会の招集
d

- ① a ② b ③ c ④ d

世界史 B

C アナトリアに成立した⑦オスマン帝国は14世紀にバルカン半島へ進出し、アドリアノープルを都とした。オスマン帝国は、アナトリアなど帝国の中心部では封土を保有する騎士と⑧イスラーム法に基づき裁判を行う法官とを常駐させる中央集権体制をとった。一方、エジプトなど新規に獲得した領土は属州とし、貢納金の義務を除けば現地の支配層らに統治をゆだねた。しかし18世紀以降は属州への統制がゆるみ、各地で有力者が台頭した。オスマン帝国から自立し、事実上の王朝を創始したムハンマド＝アリーがその一例である。ムハンマド＝アリーはオスマン帝国の一傭兵隊長であったが、ナポレオンのエジプト遠征を撃退したことでエジプト総督への就任をオスマン帝国に追認させた。オスマン帝国の支配力はさらに衰退し、ギリシアでは独立運動が激化した。⑨フランス革命の影響が、この地域で顕著になっていく端緒ともいえる。

問7 下線部⑦に関連して、オスマン帝国のスルタンについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① メフメト2世は、アンカラの戦いでティムール軍に大敗を喫した。
- ② スレイマン1世は、神聖ローマ帝国のカール4世時代のウィーンを包囲した。
- ③ アブデュルメジト1世は、ギュルハネ勅令でタンジマートを開始した。
- ④ アブデュルハミト2世は、アフガン戦争を口実にミドハト憲法を停止した。

問8 下線部⑧について述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

イスラーム法はアラビア語のシャリーアを訳したもので、『コーラン』と **ア** を基盤として、礼拝、商取引、刑事罰におよぶ信徒の生活全てを規定している。それらの規定は、 **イ** の解釈によって適用されている。

- ① **ア** — ハディース **イ** — ヴァイシャ
- ② **ア** — ハディース **イ** — ウラマー
- ③ **ア** — マドラサ **イ** — ヴァイシャ
- ④ **ア** — マドラサ **イ** — ウラマー

問9 下線部⑨について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

- ① パリの女性らによるヴェルサイユ行進が、革命の発端となった。
- ② 立法議会によって、フランス革命の理念である人権宣言が採択された。
- ③ 国民公会における裁判で、国王ルイ16世の処刑が決定された。
- ④ ブリュメール18日のクーデタで、ロベスピエールらが逮捕・処刑された。

世界史 B

第4問 冷戦の終結後、多くの地域で民族問題が発生している。旧ソ連地域も、その一つである。旧ソ連地域の民族問題の動向について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A ①ロシア帝国は、版図を拡大していく過程で、領内に多くの民族を抱え込むことになった。ロシア帝国は、西方においては支配地域に一定の自治が認められることも見られた。例えばフィンランドは、1809年にロシアに合併され、②ウィーン議定書でロシアによる領有が確認されたものの、19世紀の大半を通じて高度な自治を認められていた。ただ、外交権と交戦権はなかった。一方、ポーランドから割譲されたドニエプル川以西地方は、地主である③ポーランド人貴族の影響が大きく、さらに複雑な民族構成もあってロシア帝国の権力の浸透は限定されたものであった。19世紀後半に、近代化を目指して帝国各地で地方自治機関の設置が始まったが、ドニエプル川以西地方では、20世紀初めになっても設置はなかなか進まなかった。

問1 下線部①に関連して、ロシアの君主について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① イヴァン3世は、モンゴル勢力のチャガタイ=ハン国から自立した。
- ② イヴァン4世は、イェルマークのシベリア進出によって領土拡張を行った。
- ③ ピョートル1世は、清朝との間に国境画定条約であるキャフタ条約を締結した。
- ④ エカチェリーナ2世は、ステンカ=ラージンの農民反乱を鎮圧した。

問2 下線部②に関連して、この議定書を採択したウィーン会議について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① この会議は、オーストリアの政治家カニングが議長として主導した。
- ② この会議は、自由主義と勢力均衡を基本原則として進められた。
- ③ この会議で、ロシアのニコライ1世が神聖同盟を成立させた。
- ④ この会議は、「会議は踊る、されど進まず」と風刺された。

問3 下線部③に関連して、ポーランドの動向について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- a** ヤゲウォ朝は、ドイツ騎士団を撃破してポーランドの最盛期を現出した。
- b** ポーランド分割に対して、ゴムウカは義勇軍を率いて抵抗した。

- ① **a** — 正 **b** — 正
- ② **a** — 正 **b** — 誤
- ③ **a** — 誤 **b** — 正
- ④ **a** — 誤 **b** — 誤

世界史 B

B 第一次世界大戦開戦以来、敗戦を重ねるロシアでは、戦争継続に反対する動きが帝国各地で広がった。開戦2年後、中央アジアでは動員に対する諸民族の蜂起が起こった。その翌年には④ロシア革命が起こった。なおも戦争が継続されたこともあり、ロシア社会民主労働党の指導者レーニンは、無併合・無償金・⑤民族自決に基づく講和を呼びかけた。その一方で、レーニンはウクライナの独立を弾圧した。それでも、その後に成立したソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連)には、民族名を冠する共和国が複数存在した。⑥1920年から1940年にかけてソ連を構成する共和国の数は、最大16共和国になった。行政区画によって複雑な民族構成をもち、のちの紛争の火種がまかれた国々が多く発生した。

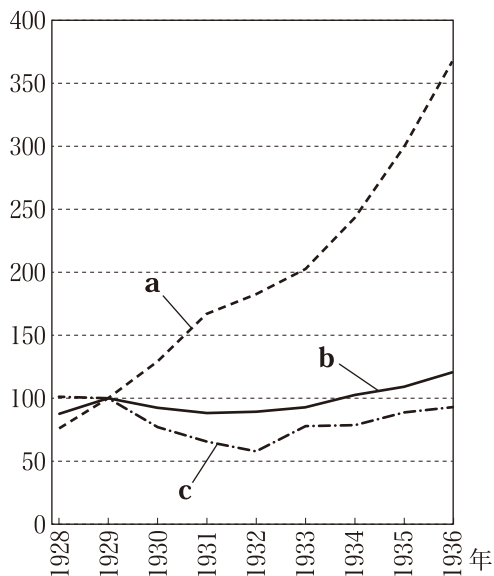
問4 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 首都モスクワでの労働者のストライキから始まった蜂起が、革命に発展した。
- ② ロシア二月革命で皇帝アレクサンドル2世が退位し、ロマノフ朝は滅んだ。
- ③ 二月革命の同年4月に、レーニンは「土地に関する布告」を発表した。
- ④ 武装蜂起で臨時政府が倒され、ボリシェヴィキ政権が樹立された。

問5 下線部⑤に関連して、アジア・アフリカの民族運動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① イギリスの保護国となっていたエジプトでは、ワフド党が独立運動の中心となった。
- ② 秘密結社のタキン党が、インドネシアの民族運動を主導した。
- ③ ワグナー法の制定に対して、ガンディーが非暴力・不服従運動を展開した。
- ④ 「朝鮮独立万歳」を叫ぶ五・四運動が、ソウルから朝鮮全土に広がった。

問6 下線部⑥に関連して、次のグラフは、世界恐慌中の各国の工業生産の変化を、1929年を100として示している。グラフ中のa～cに該当する国の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 33



- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ① a — アメリカ合衆国 | b — イギリス | c — ソ 連 |
| ② a — アメリカ合衆国 | b — ソ 連 | c — イギリス |
| ③ a — イギリス | b — アメリカ合衆国 | c — ソ 連 |
| ④ a — イギリス | b — ソ 連 | c — アメリカ合衆国 |
| ⑤ a — ソ 連 | b — アメリカ合衆国 | c — イギリス |
| ⑥ a — ソ 連 | b — イギリス | c — アメリカ合衆国 |

世界史 B

C ⑦ ソ連の体制は中央集権的であり、抑圧的であった。しかし、ソ連を構成する共和国には、一定の自律性も公式には認められていた。例えば、各共和国では行政に用いる言語として、それぞれの民族語の使用が認められていた。ただし、その行政言語とされたのは、各共和国の最大多数を占める民族の言語であった。さらに、民族により使用する文字が異なる、あるいは文字をもたない場合もあった。一方、言語政策以外についても、⑧ 第二次世界大戦後以降も各共和国ごとに特色を考慮されることになっていた。例えばアゼルバイジャンでは、石油化学工業が推進された。しかし、現在ではそれも民族紛争の一因となっている。⑨ 1991年のソ連の解体が連邦構成共和国を単位としてなされたことは、これらの共和国が安定して民主主義的な国家体制を実現するものとはならなかった。

問7 下線部⑦に関連して、1920～30年代のソ連の動向について述べた文として波線部が誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① レーニンの死後、党内の主導権争いでスターリンがケレンスキーを破った。
- ② 第1次五カ年計画で、コルホーズ建設による農業の集団化が推進された。
- ③ コミンテルン第7回大会で、人民戦線の形成を求める方針が採択された。
- ④ ドイツと日本が国際連盟を脱退した翌年に、国際連盟加入が実現した。

問8 下線部⑧に関連して、この戦争中のソ連の動向について述べた次の文 a～c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 35

- a ローズヴェルト・チャーチル・スターリンが、ヤルタで会談をもった。
- b スターリングラードの戦いで、ソ連軍がドイツ軍を降伏させた。
- c 領土問題と国境紛争から、ソ連=フィンランド戦争が勃発した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問9 下線部⑨に関連して、この時期にソ連の大統領であった人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① エリツィン
- ② ゴルバチョフ
- ③ フルシチョフ
- ④ ブレジネフ

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2023年度一般入学試験後期日程【世界史B】

- 1) 「ダウ船」 写真：アフロ
- 2) 「ジャンク船」 写真：アフロ

2023年度一般入学試験後期日程【日本史B】

- 1) 「石山寺縁起絵巻」 石山寺所蔵